

静岡県月例経済報告

(平成30年4月号)

……平成30年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 504

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年2月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(2月)は、百貨店が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、2か月連続で前年実績を下回った。スーパーは前年実績と同水準だった。

専門量販店等販売額(2月)は、コンビニエンスストアが4か月ぶり、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が4か月連続、ドラッグストアが12か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも12か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、軽自動車が12か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が5か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(2月)は、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家、貸家がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(2月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年4月2日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(2月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（2月）は、原動機が3か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコンが4か月連続、自動車は2か月連続、自動車の部分品が10か月連続、二輪自動車類が14か月ぶり、科学光学機器が9か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも16か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額（2月）は、魚介類及び同調製品、原動機が前年実績を下回ったものの、自動車の部分品やパルプなどで前年実績を上回ったことから、総額でも12か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、890億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（1月）は、化学が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、電気機械がいずれも3か月連続、輸送機械が14か月ぶり、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも13か月ぶりに前年水準を下回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（1月）は、総合では4か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（2月）は1.65倍で、前月を0.04ポイント上回った。また、49か月連続で1倍を上回った。なお、12か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（2月）は、55か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（12月）は、11か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比1.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（2月）は、前年同月比4.7%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（3月）は、件数は26件（前年同月比16.1%減）、負債総額は30億6,500万円（同57.7%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 世界農業遺産「静岡水わさびの伝統栽培」認定証授与式

平成30年4月19日（現地時間11時25分から、日本時間18時25分から）、イタリア・ローマの国連食料農業機関（FAO：Food and Agriculture Organization of the United Nations）本部において、世界農業遺産認定証授与式が開催され、「静岡水わさびの伝統栽培」の認定証が静岡わさび農業遺産推進協議会に授与されました。

（世界農業遺産認定授与式の概要）

- 1 開催日
2018年4月19日（木）
- 2 場所
FAO（国連食糧農業機関）本部（イタリア・ローマ）
- 3 内容
 - （1）世界農業遺産認定証授与
ジョゼ・グラツィアーノ・ダ・シルバ FAO事務局長から認定証の授与
 - （2）新規認定地域からのプレゼンテーション
「静岡水わさびの伝統栽培」認定地域プレゼンテーション
 - （3）世界農業遺産認定地域の展示
 - ・ わさびや加工品の展示、写真パネルの展示
 - ・ パンフレット配布等による静岡わさびの魅力PR



世界農業遺産認定までの経緯

時期	内容
平成29年3月14日	農林水産省による日本農業遺産の認定並びに世界農業遺産への認定申請に係る承認
平成29年10月23日	FAOへ申請書を提出
平成30年1月29、30日	FAOによる現地調査の実施（静岡市、伊豆市）
平成30年3月8、9日	FAOによる審査会の開催
平成30年3月9日	認定の決定（FAO速報公表）

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2月 = 30,823百万円

*前年同月比： 0.4%減

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は30,823百万円で、前年同月比0.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比1.7%減）が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。スーパーは前年実績と同水準だった。

商品別では、身の回り品（前年同月比2.0%増）が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同0.8%減）が2か月連続、飲食料品（同0.3%減）が8か月連続、家庭用品（同2.8%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.8%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
販売額(百万円)	35,877	33,985	31,500	33,613	34,063	42,544	36,380	30,823
前年同月比(%)	▲0.4	▲1.4	▲0.8	▲2.3	▲1.5	0.1	▲0.9	▲0.4
うち百貨店(%)	▲1.7	▲0.6	6.0	▲4.4	0.9	0.8	▲2.4	▲1.7
スーパー(%)	▲0.1	▲1.6	▲2.3	▲1.8	▲2.2	▲0.1	▲0.6	0.0
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.2	0.6	1.9	▲0.7	1.4	1.1	0.5	0.6
うち百貨店(%)	▲1.3	2.1	4.2	▲0.5	3.6	0.8	▲0.1	0.3
スーパー(%)	0.4	0.1	0.8	▲0.9	0.2	1.3	0.7	0.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.5	0.2	0.5	▲1.1	▲0.6	1.3	0.1	0.8

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
衣料品	▲1.9	▲5.3	1.7	▲3.8	▲4.6	0.7	▲5.0	▲0.8
うち紳士服・洋品	▲1.4	▲8.0	3.8	▲1.6	▲4.6	2.0	▲2.7	▲3.5
婦人・子供服・洋品	▲2.7	▲3.6	1.6	▲4.4	▲4.0	0.6	▲6.1	0.9
身の回り品	▲0.2	▲3.6	6.2	▲3.3	▲3.5	0.0	▲1.6	2.0
飲食料品	▲0.7	▲1.3	▲2.5	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.2	▲0.3
家庭用品	▲1.9	▲3.3	1.4	▲4.0	▲4.6	▲5.1	▲1.9	▲2.8
うち家庭用電気機械器具	▲2.5	▲12.1	▲5.4	▲10.4	▲6.2	▲14.7	▲10.1	▲6.9

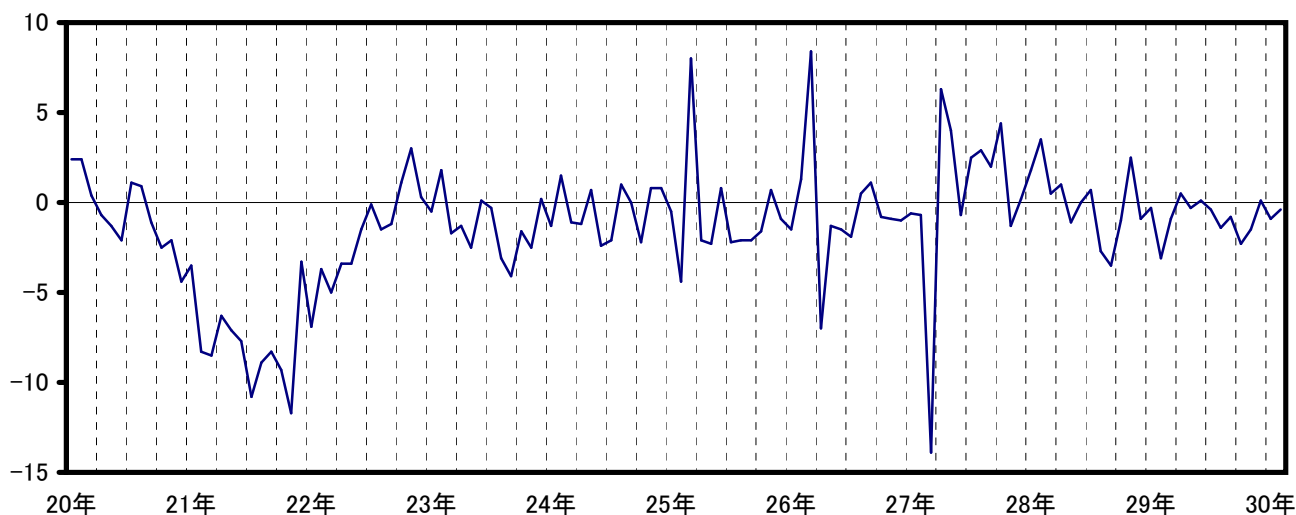
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

2月 = 58,880百万円

*前年同月比： 2.3%増

(県内94家電大型専門店、1,743コンビニエンスストア、467ドラッグストア、102ホームセンター合計)

<概況>

2月の専門量販店等販売額は58,880百万円で、前年同月比 2.3%増となり、12か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 0.1%減）が4か月ぶり、ホームセンター（同 0.7%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 4.7%増）が4か月連続、ドラッグストア（同 6.1%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
販売額（百万円）	74,952	70,918	63,700	64,401	64,592	76,204	64,875	58,880
前年同月比（%）	3.6	2.7	3.5	0.1	2.9	3.4	2.4	2.3
うち 家電大型専門店（%）	6.4	4.6	0.7	▲ 2.4	5.2	7.3	5.0	4.7
コンビニエンスストア（%）	2.8	2.0	1.4	▲ 0.6	0.3	0.5	0.5	▲ 0.1
ドラッグストア（%）	5.2	4.8	8.5	5.7	6.6	6.5	5.9	6.1
ホームセンター（%）	0.1	▲ 1.0	2.7	▲ 7.5	0.9	1.2	▲ 2.2	▲ 0.7
(参考) 全国前年同月比（%）	4.7	3.3	3.5	0.9	3.6	3.8	2.9	2.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

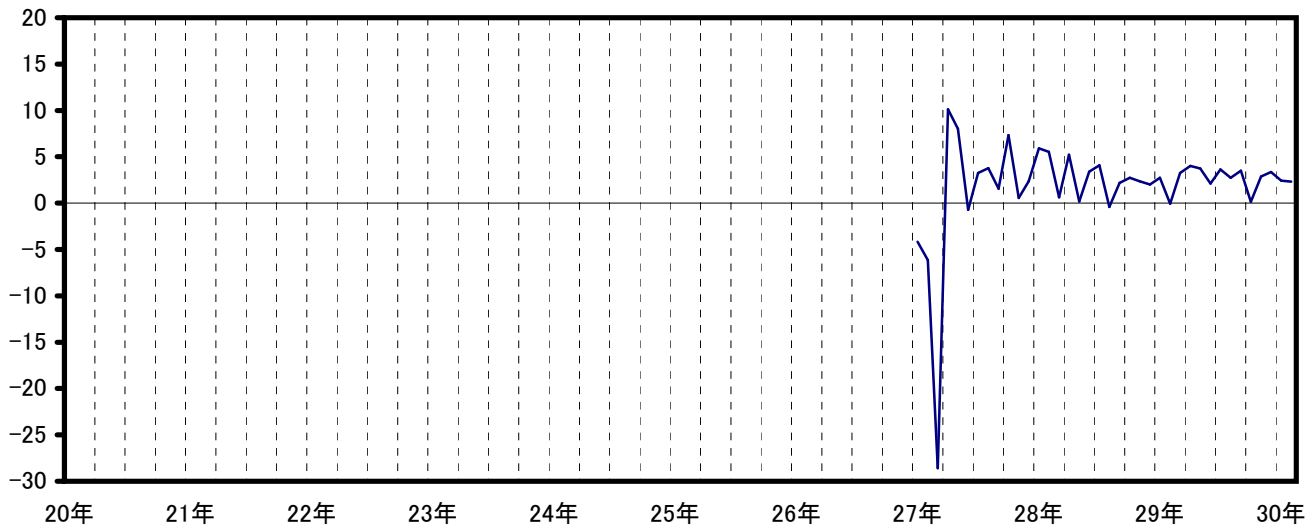
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 17,887 台

*前年同月比： 0.1%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は17,887台(前年同月比 0.1%減)となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

車種別にみると、軽自動車(前年同月比 1.7%増)が12か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 1.5%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
登録台数(台)	14,281	11,788	17,157	12,382	13,434	13,048	15,357	17,887
前年同月比(%)	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1
(参考)全国前年同月比(%)	2.6	4.1	5.3	▲ 1.2	▲ 2.7	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 2.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

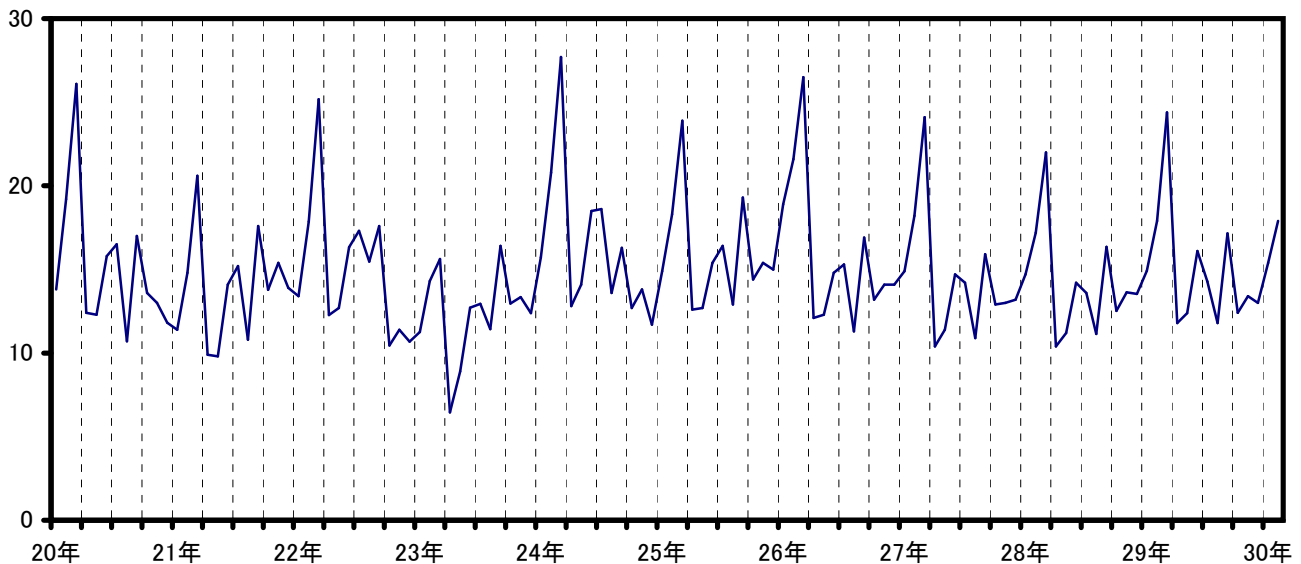
	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
全乗用車	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1
乗用車	1.7	8.6	5.1	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 6.7	▲ 1.5
軽自動車	9.2	2.2	4.9	7.5	2.4	0.4	16.6	1.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,742 戸

*前年同月比： 9.8%減

<概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,742戸で、前年同月比 9.8%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 35.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 24.3%減）、貸家（同 7.9%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

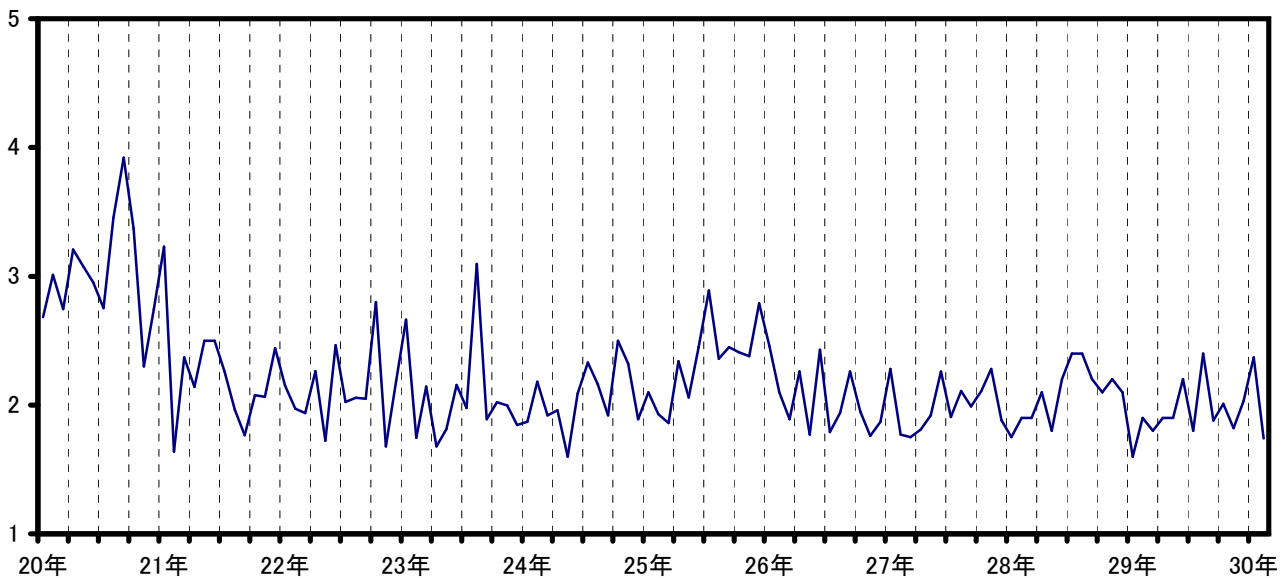
	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
戸数（戸）	1,838	2,387	1,878	2,012	1,820	2,032	2,369	1,742
前年同月比（%）	▲ 22.0	▲ 0.7	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 17.8	▲ 2.0	44.0	▲ 9.8
うち持家（%）	▲ 17.4	▲ 9.9	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 0.9	21.2	▲ 24.3
貸家（%）	▲ 36.1	22.5	▲ 31.3	7.9	▲ 35.4	▲ 0.4	34.5	▲ 7.9
分譲住宅（%）	▲ 9.3	▲ 17.5	0.0	▲ 15.9	11.2	▲ 8.8	124.9	35.3
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 4.8	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 13.2	▲ 2.6

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

2月 = 8,327百万円

*前年同月比：33.2%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

2月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は8,327百万円で、前年同月比33.2%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は185件で、前年同月比42.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
金額(百万円)	27,049	24,287	45,692	21,188	13,967	13,064	9,580	8,327
前年同月比(%)	▲3.4	▲17.7	▲9.3	9.8	▲1.7	▲21.4	▲8.4	▲33.2
年度累計前年同月比(%)	12.2	6.3	2.4	3.0	2.7	1.1	0.7	▲0.8
件数(件)	745	792	1,371	729	667	694	369	185
前年同月比(%)	▲8.9	▲10.5	▲5.1	11.0	1.5	▲10.1	▲15.0	▲42.4
年度累計前年同月比(%)	4.7	0.5	▲1.3	0.2	0.4	▲0.8	▲1.7	▲3.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

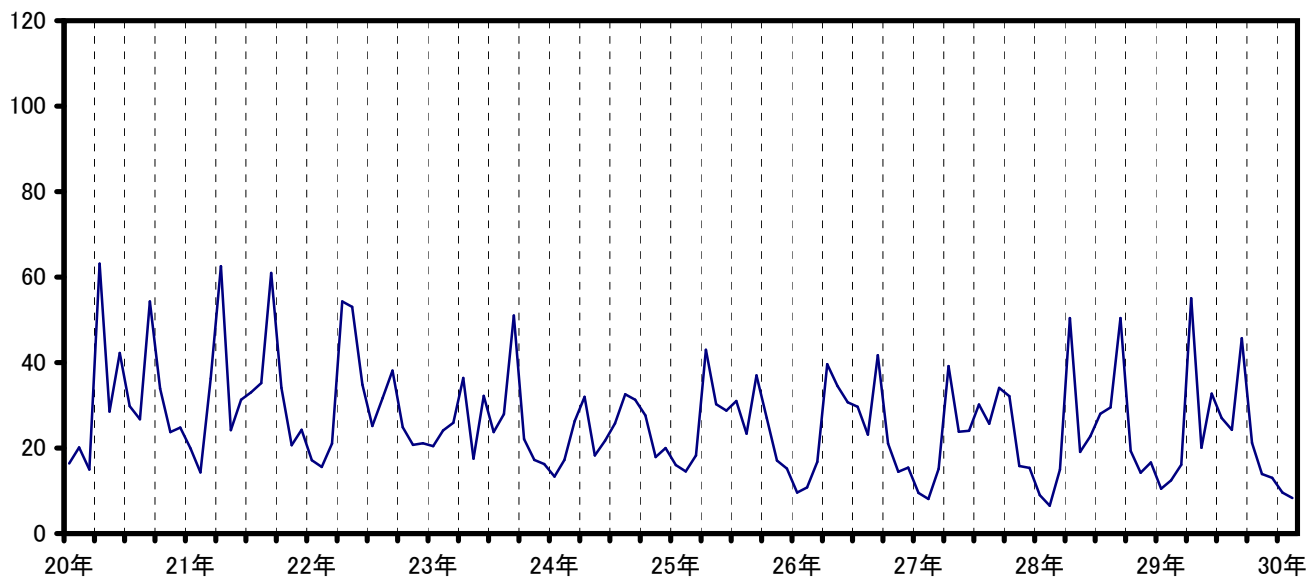
	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
国	▲3.0	▲40.7	3.6	107.7	108.8	▲99.1	▲63.5	▲35.2
独立行政法人等	▲92.5	5,289.9	▲49.2	▲33.9	▲59.0	113.4	77.7	758.0
県	▲17.2	▲18.2	3.3	▲35.0	▲24.9	▲6.3	67.2	▲73.7
市町	▲0.6	▲17.8	▲18.9	28.9	11.3	▲21.2	▲27.7	▲29.6
地方公社	707.1	39.3	586.3	▲90.9	21.0	▲80.9	—	—
その他	46.2	▲47.0	153.8	316.9	▲45.7	▲81.8	▲63.2	389.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 4.4%増）で増加、非製造業（同 3.4%減）で減少し、全産業（同 0.9%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 4.0%増）で増加、非製造業（同 1.2%減）で減少し、全産業（同 2.8%増）で増加する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は123,341㎡で、前年同月比 49.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (計画)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲2.1) 10.4	0.9
	全国	(▲0.4) 4.0	▲ 0.7
製造業	県	(▲4.5) 16.4	4.4
	全国	(▲3.2) 6.5	6.0
非製造業	県	(1.1) 3.5	▲ 3.4
	全国	(1.3) 2.7	▲ 4.5

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (計画)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲1.3) 11.3	2.8
	全国	(▲1.4) 4.2	2.0
製造業	県	(▲1.7) 14.3	4.0
	全国	(▲2.7) 4.1	4.6
非製造業	県	(▲0.1) 2.9	▲ 1.2
	全国	(0.1) 4.4	▲ 0.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年3月調査)」

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	117,369	131,182	82,379	117,588	96,613	109,021	86,688	123,341
前年同月比（%）	8.3	▲ 29.5	▲ 51.9	50.8	▲ 32.1	1.0	▲ 43.9	49.6
(参考) 全国前年同月比（%）	18.0	▲ 3.3	6.9	16.2	6.3	▲ 10.8	▲ 6.8	0.4

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	29年12月	30年3月	30年6月 (予測)
全 産 業	19	17	7
製 造 業	23	18	9
非 製 造 業	16	18	6
(参考) 全国 ・ 全産業	16	17	12

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年3月調査)」

5 輸出

2月 = 174,346百万円

*前年同月比： 4.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は174,346百万円で、前年同月比 4.6%減となり、16か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 13.8%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコン（同 21.4%減）が4か月連続、自動車（同 2.1%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 14.5%減）が10か月連続、二輪自動車類（同 22.9%減）が14か月ぶり、科学光学機器（同 9.0%減）が9か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 8.2%減）が16か月ぶり、米国向け（同 0.1%減）が3か月連続、EU向け（同 9.7%減）が14か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
輸出総額(百万円)	184,814	171,418	176,036	185,489	178,887	199,181	157,324	174,346
前年同月比(%)	15.0	18.2	7.1	17.7	9.5	5.4	5.5	▲ 4.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
原動機	▲ 0.4	5.8	9.5	7.2	▲ 2.6	3.2	10.8	13.8
エアコン	▲ 1.3	▲ 12.6	28.7	32.0	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 23.7	▲ 21.4
自動車	230.6	308.4	1.6	148.3	138.9	16.4	▲ 1.0	▲ 2.1
自動車の部分品	▲ 13.1	▲ 0.3	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 15.8	▲ 18.2	▲ 14.2	▲ 14.5
二輪自動車類	18.6	28.4	32.7	24.0	10.2	10.6	6.9	▲ 22.9
科学光学機器	22.5	53.8	45.3	38.2	30.7	51.8	20.1	▲ 9.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
アジア	15.4	23.0	7.4	18.9	7.3	6.4	10.6	▲ 8.2
米国	▲ 4.1	▲ 0.9	5.3	▲ 11.2	0.2	▲ 7.0	▲ 1.9	▲ 0.1
EU	42.9	41.8	8.7	54.9	23.4	20.9	4.3	▲ 9.7

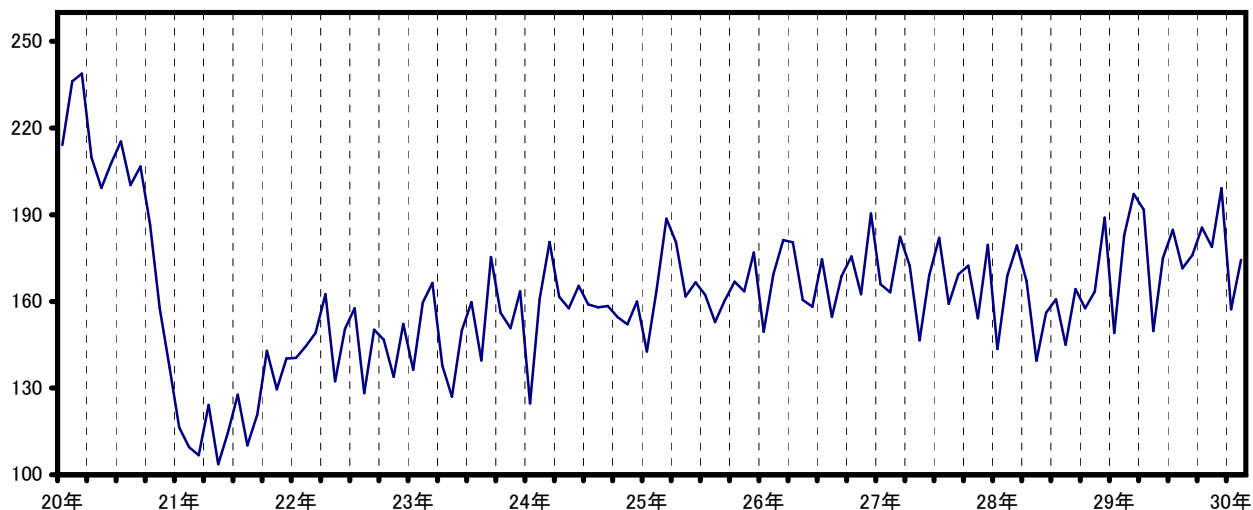
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

2月 = 85,320百万円

*前年同月比： 18.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は85,320百万円で、前年同月比 18.6%増となり、12か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 67.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同 7.9%増）、紙類及び同製品（同 4.2%増）、自動車の部分品（同 27.1%増）がいずれも2か月連続、パルプ（同 43.2%増）が4か月連続で前年実績を上回った。魚介類及び同調製品（同 6.2%減）は前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 21.8%増）が12か月連続で前年実績を上回ったものの、米国から（同 15.7%減）が2か月ぶり、EUから（同 23.6%減）が13か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
輸入総額(百万円)	82,175	85,404	83,678	73,321	89,593	89,185	89,765	85,320
前年同月比(%)	21.8	13.4	13.8	3.8	9.6	15.5	6.3	18.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
魚介類及び同調製品	—	—	—	—	—	—	26.2	▲ 6.2
木 材	▲ 7.7	9.8	34.2	30.1	64.8	▲ 3.3	3.8	7.9
パ ル プ	39.0	37.6	50.8	▲ 4.9	75.7	46.4	18.2	43.2
紙 類 及 び 同 製 品	16.6	13.2	▲ 9.8	4.3	33.1	▲ 24.2	2.5	4.2
原 動 機	▲ 29.6	▲ 68.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 29.1	1.6	▲ 40.2	▲ 67.3
自 動 車 の 部 分 品	24.1	21.3	▲ 0.4	15.8	▲ 4.6	▲ 26.9	1.0	27.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

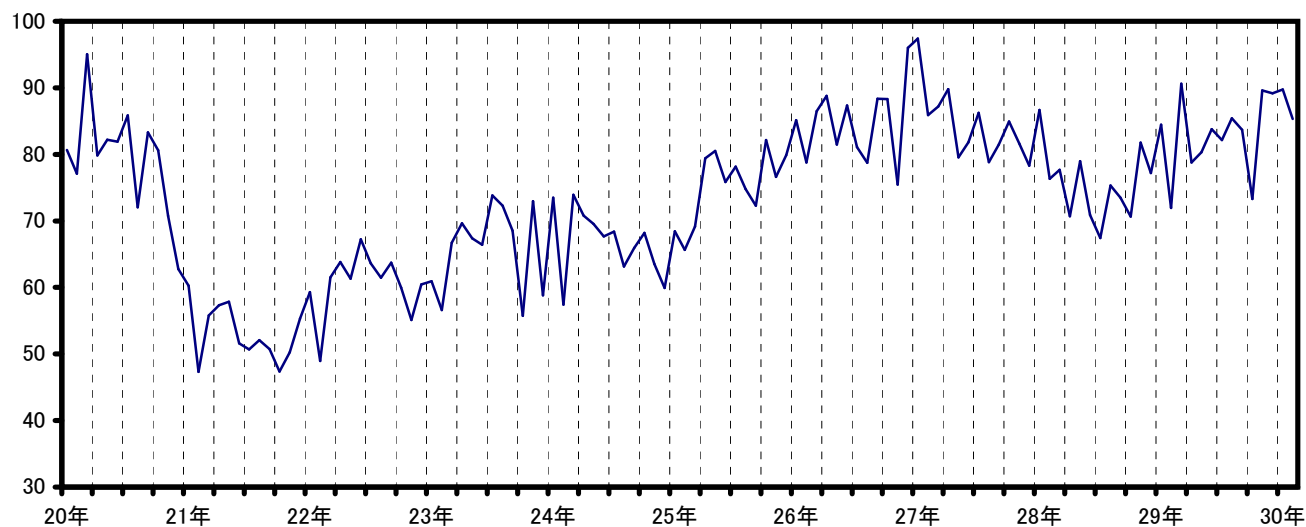
	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
ア ジ ア	15.5	1.6	22.2	1.2	12.0	11.7	0.9	21.8
米 国	35.8	▲ 4.9	21.4	▲ 1.0	9.1	▲ 2.6	13.1	▲ 15.7
E U	17.7	30.7	21.5	24.5	5.9	22.3	42.3	▲ 23.6

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

1月 = 90.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 5.0%減

*前年同月比(原指数) : 1.1%減

<概況>

1月の鉱工業生産指数(総合)は90.9(季節調整済指数)で、前月比5.0%減となり、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は1.1%減と13か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、化学(前年同月比0.8%増)が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.2%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同9.3%減)、電気機械(同3.2%減)がいずれも3か月連続、輸送機械(同1.6%減)が14か月ぶり、食料品・たばこ(同2.1%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
指数	92.2	91.3	94.1	93.2	96.3	92.6	95.7	90.9
前月比(%)	0.9	▲1.0	3.1	▲1.0	3.3	▲3.8	3.3	▲5.0
前年同月比(%)	3.7	3.0	4.0	2.3	9.6	2.8	3.2	▲1.1
(参考)全国前年同月比(%)	4.9	4.7	5.4	2.5	5.9	3.7	4.2	2.7

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.8	▲3.7	▲6.8	▲4.7	19.5	▲1.6	▲1.8	▲9.3
電気機械工業	3.7	4.1	9.3	3.9	5.5	▲3.9	▲1.4	▲3.2
輸送機械工業	14.8	3.7	10.0	11.4	20.2	10.6	6.1	▲1.6
化学工業	4.3	7.0	2.3	1.3	10.0	6.4	8.0	0.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.2	▲2.7	▲0.4	▲1.9	▲1.5	1.5	1.8	2.2
食料品・たばこ工業	▲3.2	0.8	0.9	▲6.3	▲3.4	▲8.4	0.4	▲2.1

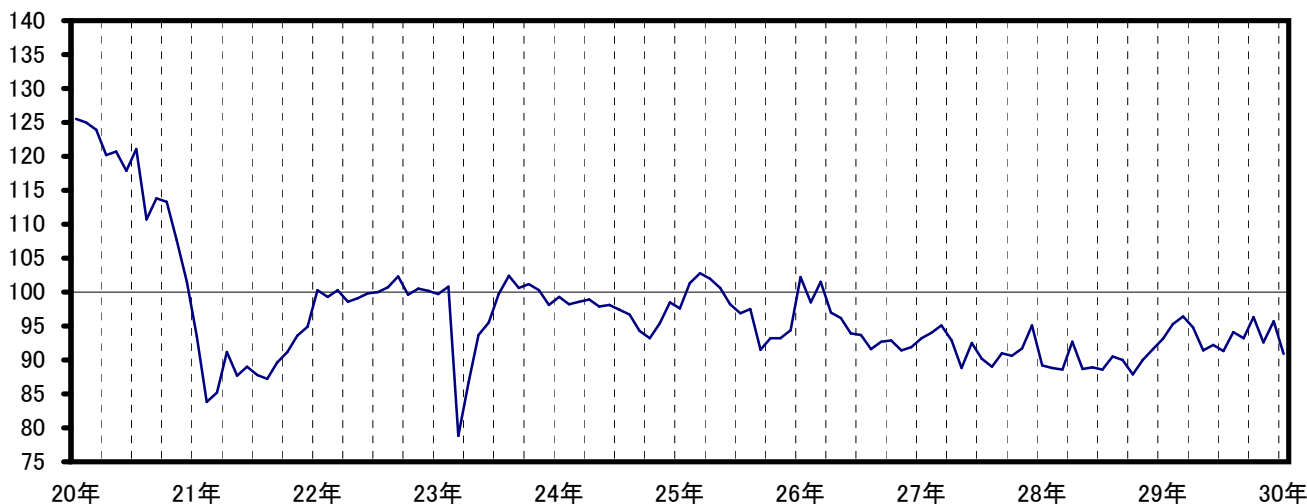
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

1 月 = 117.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.1%増

*前年同月比(原指数) : 4.8%増

<概況>

1月の鋳工業在庫指数(総合)は117.9(季節調整済指数)で、前月比は2.1%増と2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.8%増と4か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品(前年同月比 6.1%減)が7か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 3.0%増)が3か月ぶり、電気機械(同 10.6%増)が6か月連続、輸送機械(同 9.2%増)が4か月連続、化学(同 26.9%増)が8か月連続、食料品・たばこ(同 10.1%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
指 数	118.2	113.4	113.3	111.2	116.6	114.5	115.5	117.9
前 月 比 (%)	3.5	▲ 4.1	▲ 0.1	▲ 1.9	4.9	▲ 1.8	0.9	2.1
前 年 同 月 比 (%)	3.6	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.8	5.3	4.9	8.9	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 3.0	▲ 2.4	1.9	2.8	2.0	1.4

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	7.2	1.6	0.2	4.7	3.9	▲ 8.9	▲ 0.2	3.0
電 気 機 械 工 業	▲ 7.0	▲ 0.7	0.5	6.3	16.7	19.7	22.1	10.6
輸 送 機 械 工 業	14.9	▲ 22.7	▲ 26.1	▲ 14.9	6.0	20.3	36.6	9.2
化 学 工 業	1.5	5.9	12.4	7.3	23.9	25.4	24.3	26.9
パルプ・紙・紙加工品工業	0.6	▲ 2.5	▲ 6.0	▲ 6.4	▲ 9.7	▲ 6.9	▲ 4.1	▲ 6.1
食料品・たばこ工業	15.6	1.7	7.7	4.6	12.9	▲ 4.0	7.7	10.1

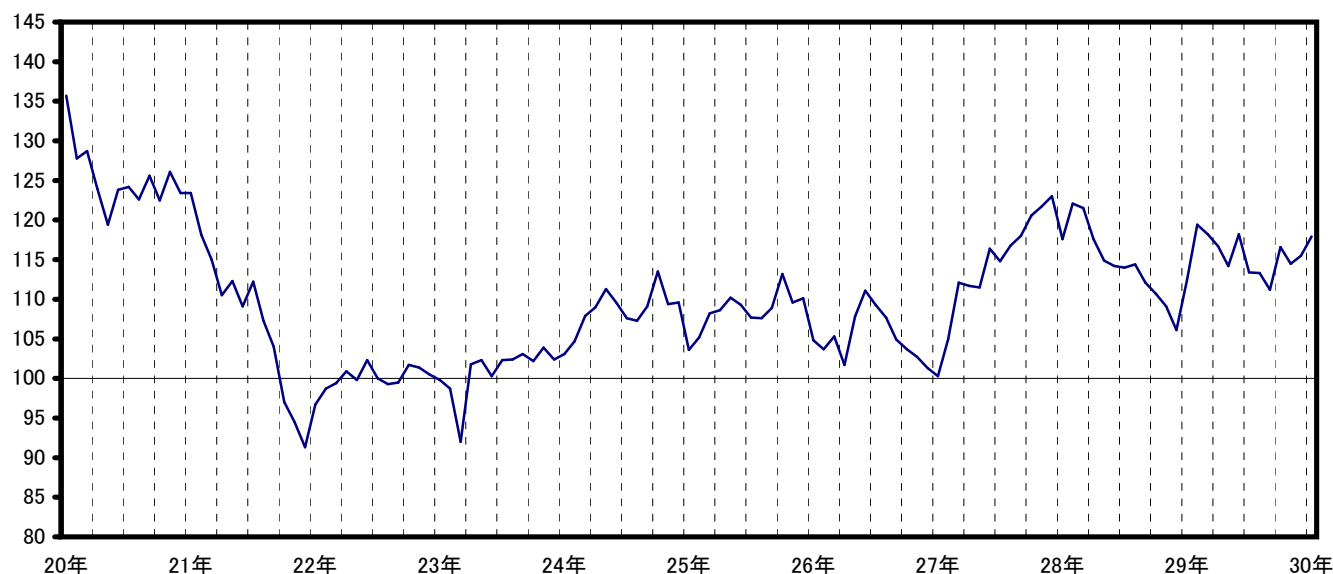
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2月 = 1.65倍

*前月比(季節調整値) : 0.04ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

2月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.65倍となり、前月を0.04ポイント上回った。また、12か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比6.8%増)は25か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比1.8%減)が25か月ぶり、情報通信業(同19.3%減)が3か月ぶり、卸売業・小売業(同5.2%減)が4か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同10.7%増)が28か月連続、運輸業・郵便業(同13.8%増)が16か月連続、医療・福祉(同8.7%増)が18か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同13.5%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
県	1.56	1.56	1.57	1.59	1.60	1.61	1.61	1.65
全 国	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
建 設 業	7.3	15.3	5.9	13.3	10.5	7.8	8.7	▲ 1.8
製 造 業	13.2	11.0	7.2	13.3	14.9	22.1	12.3	10.7
情 報 通 信 業	8.1	▲ 12.2	9.2	16.2	▲ 17.6	16.7	17.6	▲ 19.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	2.7	19.6	20.9	9.6	7.0	17.6	3.6	13.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	10.0	▲ 5.7	7.6	1.4	▲ 1.9	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 5.2
医 療 ・ 福 祉	0.3	15.4	22.5	2.4	11.3	15.1	5.2	8.7
サービス業(他に分類されないもの)	11.5	6.8	29.2	20.6	▲ 5.8	13.6	2.3	13.5
合 計	8.1	9.1	15.7	9.7	5.9	14.0	5.5	6.8

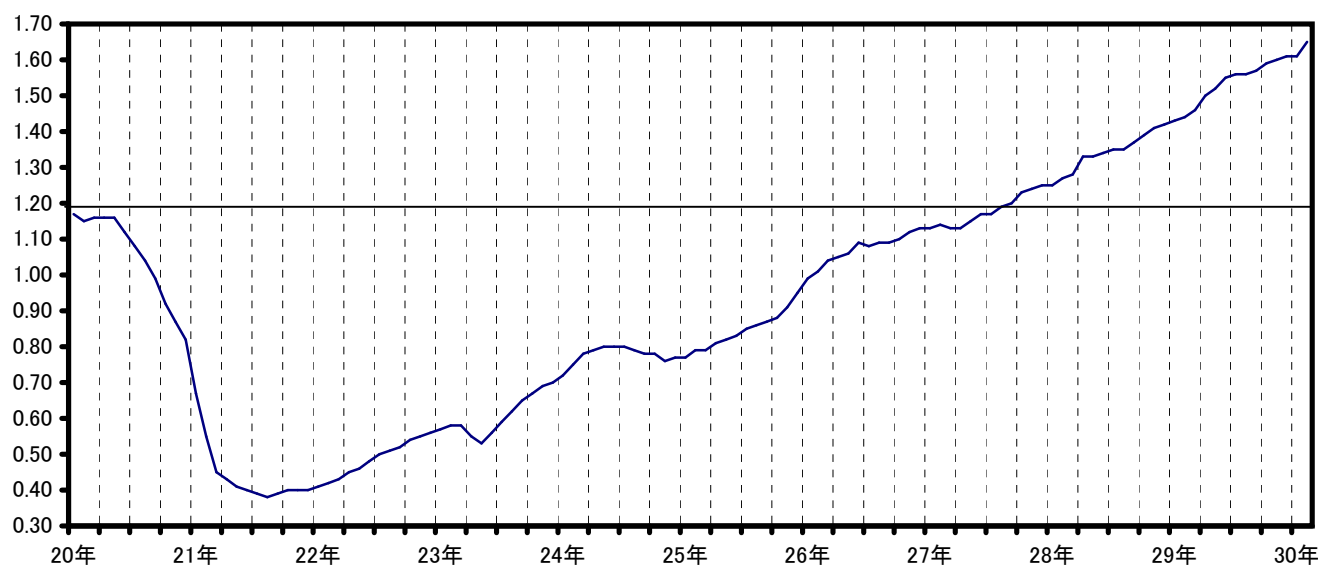
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 9,629人

*前月比: 5.2%減

*前年同月比: 5.3%減

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は9,629人で、前月比は5.2%減と6か月連続で前月を下回った。
 また、前年同月比は5.3%減と55か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.5%で、前月から0.1ポイント悪化した。
 静岡県(平成29年10~12月)の完全失業率は2.3%で、前期(29年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
実人員(人)	11,093	11,844	11,236	11,111	10,848	10,275	10,153	9,629
前月比(%)	0.6	6.8	▲5.1	▲1.1	▲2.4	▲5.3	▲1.2	▲5.2
前年同月比(%)	▲11.8	▲11.0	▲11.5	▲8.7	▲6.4	▲5.9	▲5.3	▲5.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.5	▲6.8	▲6.9	▲2.6	▲3.3	▲4.7	▲4.1	▲5.4

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5

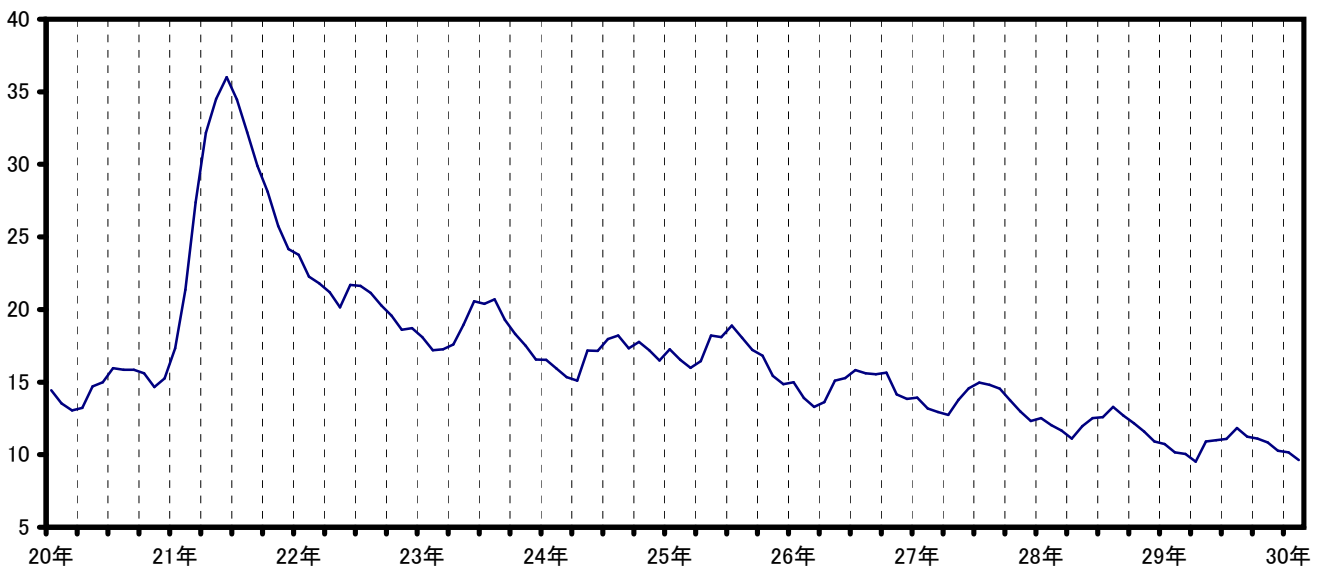
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

12月 = 98.9

*前月比(季節調整済指数): 7.4%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.3%減

<概況>

12月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は98.9(季節調整済指数)で、前月比7.4%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.3%減と11か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比6.6%増)、医療・福祉(同11.5%増)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同11.5%増)が7か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同1.6%減)が3か月連続、製造業(同1.2%減)が5か月ぶり、運輸業・郵便業(同11.4%減)が10か月連続、その他のサービス業(同4.7%減)が6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	104.7	105.5	103.2	100.2	106.4	105.0	106.8	98.9
前月比(%)	1.1	0.8	▲2.2	▲2.9	6.2	▲1.3	1.7	▲7.4
前年同月比(%)	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	▲1.8	▲0.9	0.8	▲0.1	▲0.2	▲0.1	0.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	19.5	5.2	▲13.4	▲1.5	13.9	▲26.9	▲10.8	▲1.6
製造業	8.4	7.6	▲0.3	0.8	6.2	1.3	9.5	▲1.2
情報通信業	▲1.2	▲4.6	3.4	▲4.7	19.8	▲3.2	2.3	6.6
運輸業・郵便業	▲1.7	▲3.8	▲1.1	▲3.7	▲0.6	▲5.1	▲13.2	▲11.4
卸売業・小売業	▲13.5	2.6	24.8	9.8	24.0	46.9	14.8	11.5
医療・福祉	▲3.0	▲14.0	▲2.8	6.1	▲1.7	▲12.9	9.2	11.5
その他のサービス業	▲22.5	▲5.3	12.6	14.4	13.1	38.8	26.0	▲4.7
調査産業計	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3

*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(平成27年=100)

3 月 = 100.3

*前 月 比: 0.1%下落

*前年同月比: 2.1%上昇

<概 況>

3月の国内企業物価指数は100.3となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は2.1%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
国内企業物価指数	98.8	99.0	99.4	99.8	100.0	100.3	100.4	100.3
前 月 比 (%)	0.1	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3	0.1	▲ 0.1
前年同月比 (%)	2.9	3.0	3.5	3.5	3.0	2.7	2.6	2.1

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

2 月 = 139,486億円

*前 月 比: 0.1%減

*前年同月比: 1.2%増

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,486億円で、前月比は0.1%の減少となり、前年同月比は1.2%の増加となった。

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
貸出残高(億円)	139,248	139,196	141,064	139,254	139,604	141,576	139,613	139,486
前 月 比 (%)	0.0	0.0	1.3	▲ 1.3	0.3	1.4	▲ 1.4	▲ 0.1
前年同月比 (%)	2.4	2.4	2.4	2.0	1.7	1.8	1.3	1.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

2 月 = 2.100%

*前 月 差: 0.006ポイント減

*前年同月差: 0.038ポイント減

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.100%で、前月から0.006ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.038ポイントのマイナスとなった。

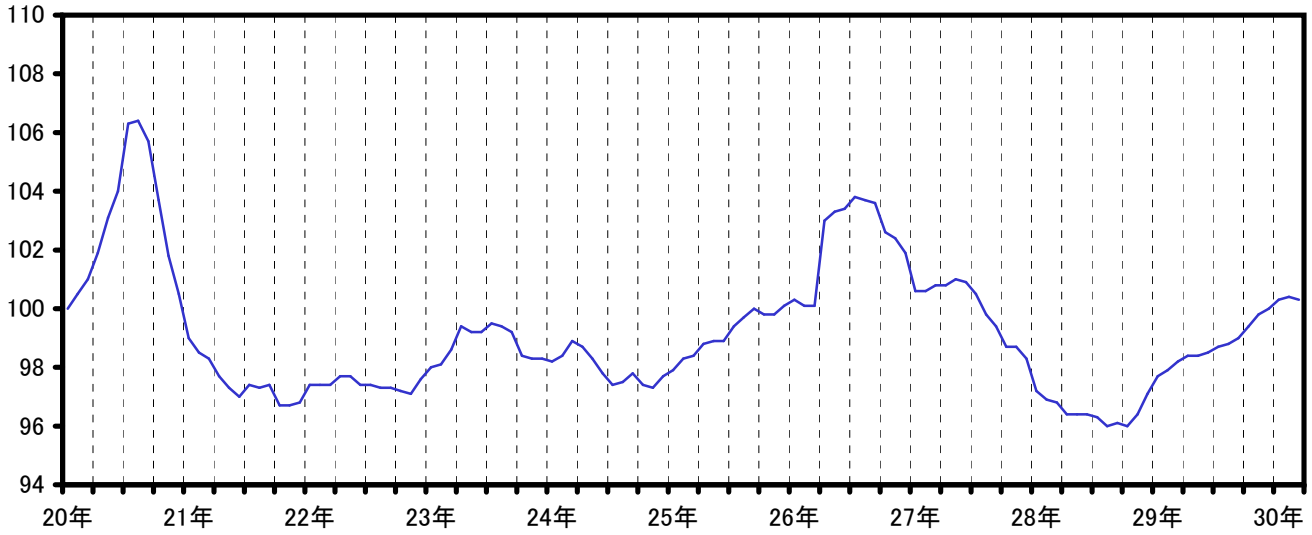
	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
貸出約定金利(%)	2.120	2.122	2.111	2.123	2.117	2.098	2.106	2.100
前月差(ポイント)	▲ 0.003	0.002	▲ 0.011	0.012	▲ 0.006	▲ 0.019	0.008	▲ 0.006
前年同月差(ポイント)	▲ 0.035	▲ 0.032	▲ 0.033	▲ 0.029	▲ 0.029	▲ 0.026	▲ 0.028	▲ 0.038

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

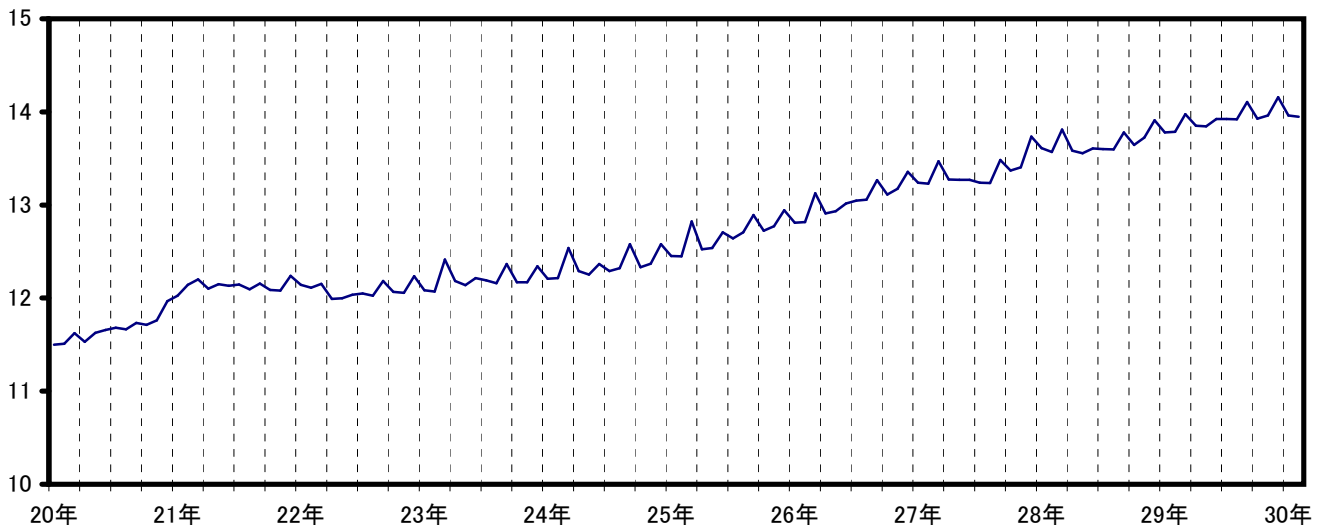
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



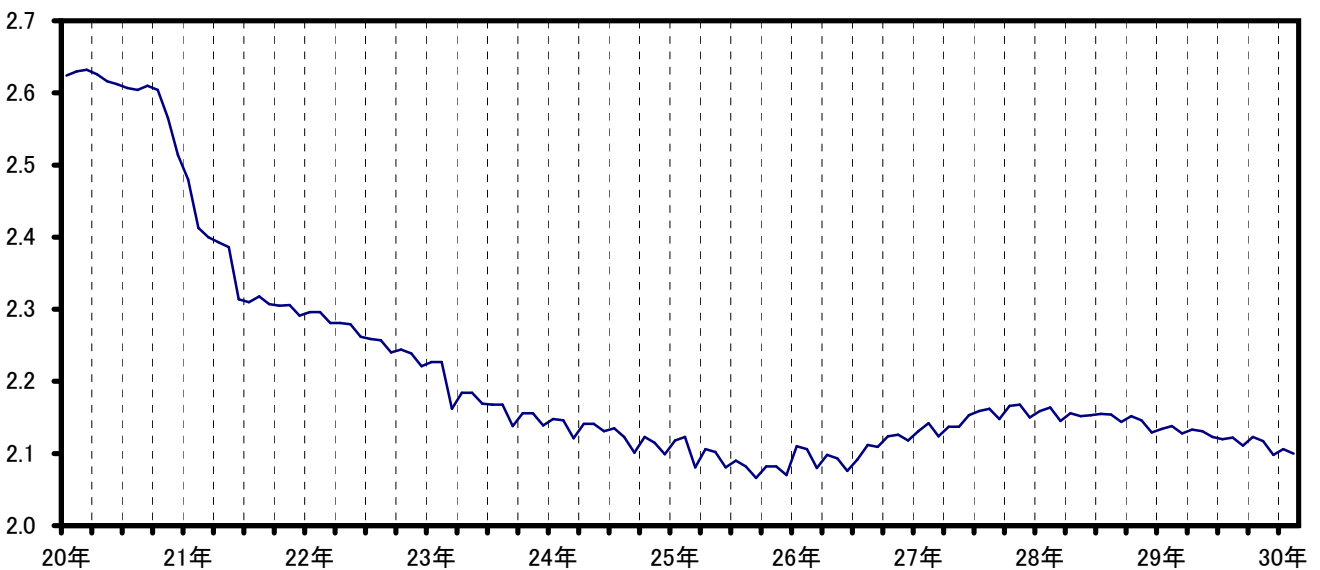
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**2月 = 17,320百万円**

*前年同月比： 4.7%減

<概況>

2月の保証承諾は、金額は17,320百万円（前年同月比 4.7%減）と、3か月連続で前年実績を下回り、件数は1,824件（同 0.3%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
保証金額（百万円）	17,411	18,145	19,319	15,886	20,201	23,366	13,633	17,320
前年同月比（%）	▲ 15.9	▲ 19.6	▲ 17.1	▲ 6.8	4.7	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 4.7
保証件数（件）	1,738	1,933	2,009	1,635	1,930	2,317	1,486	1,824
前年同月比（%）	▲ 13.5	▲ 11.0	▲ 13.4	▲ 8.2	2.2	▲ 1.9	▲ 1.2	0.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**3月 = 106.00円/ドル**

*前月差： 1.82円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 7.01円高

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は106.00円で、前月と比べて1.82円の円高となり、3か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
平均相場（円）	109.91	110.68	112.96	112.92	112.97	110.77	107.82	106.00
前月差（円）	▲ 2.53	0.77	2.28	▲ 0.04	0.05	▲ 2.20	▲ 2.95	▲ 1.82
前年同月差（円）	8.64	8.64	9.14	4.74	▲ 2.98	▲ 3.96	▲ 5.24	▲ 7.01

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 26件**

*前年同月比： 16.1%減

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は26件（前年同月比 16.1%減）、負債総額は3,065百万円（同 57.7%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が25件と全体の96.2%を占め、244か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

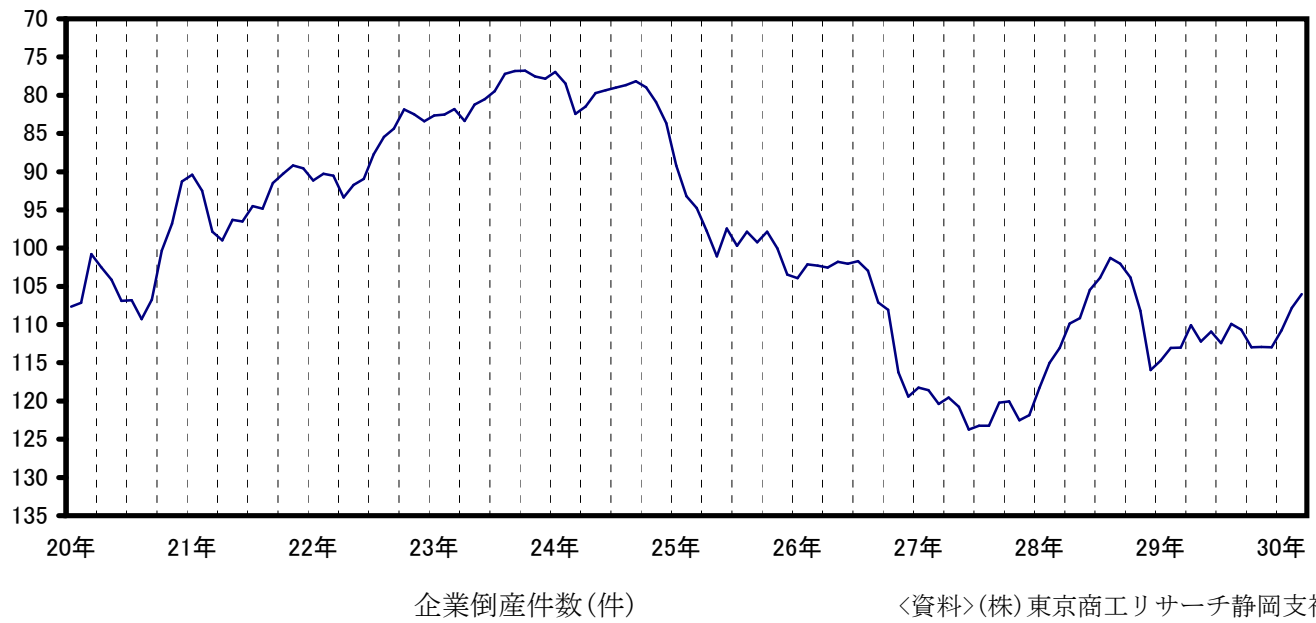
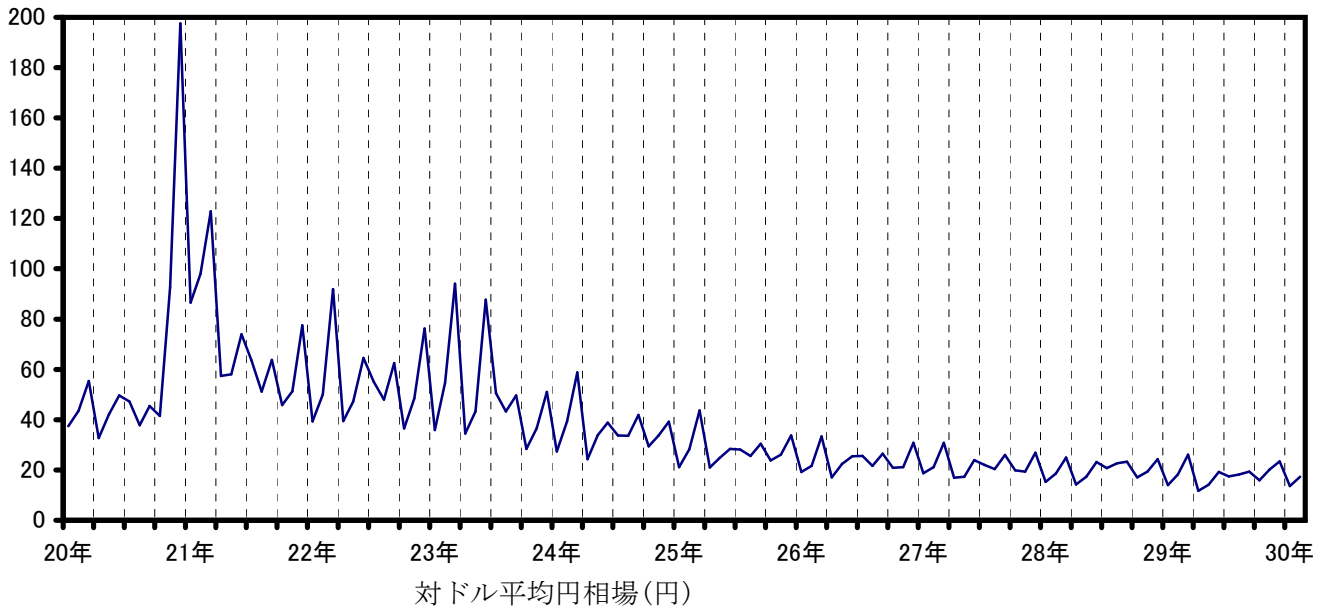
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
倒産件数（件）	21	23	23	21	15	18	22	26
前年同月比（%）	10.5	4.5	76.9	10.5	▲ 57.1	12.5	22.2	▲ 16.1
うち不況型倒産件数（件）	20	22	20	21	13	17	20	25
負債総額（百万円）	1,679	1,558	3,542	8,404	1,255	2,369	2,688	3,065
前年同月比（%）	▲ 18.6	▲ 32.6	117.1	310.1	▲ 77.9	40.4	▲ 65.4	▲ 57.7

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

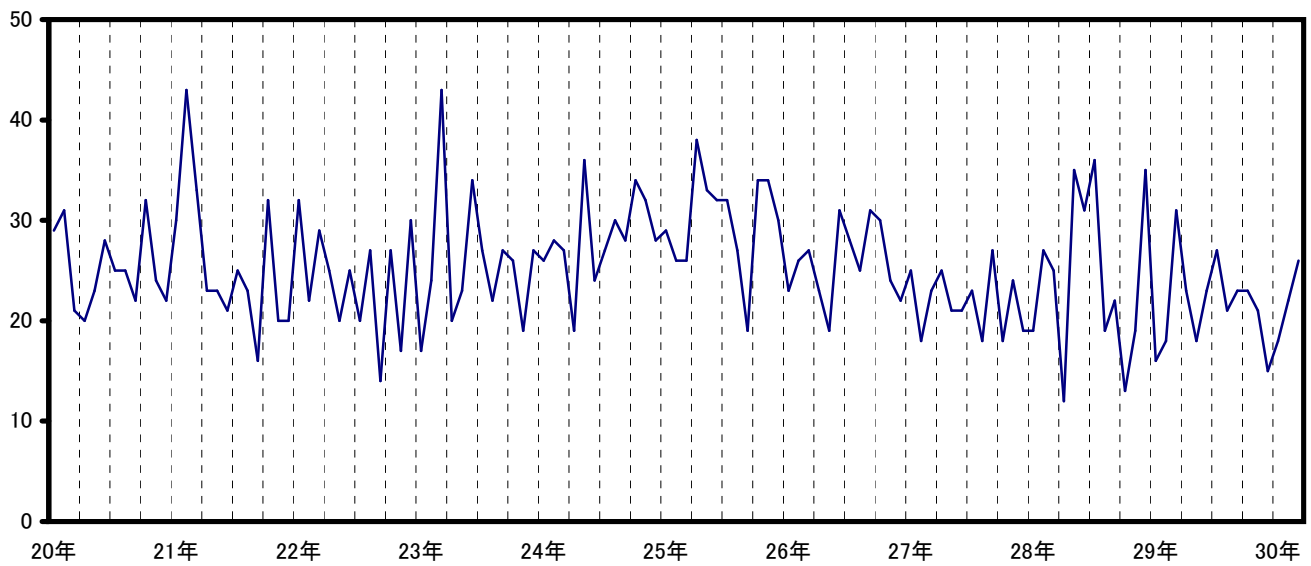
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、60,919台（前年同月比 0.7%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,903台（同 14.3%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,520台（同 61.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,320台（同 19.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、43,176台（同 3.6%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、26,821台（同 6.7%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、48,385台（同 4.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>2月の自動車国内生産台数は、850,142台（前年同月比 0.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。なお、輸出は416,546台（同 10.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、トラックが2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は321億円（前年同月比 7.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は297千台（同 1.2%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは582千台（同 6.3%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は67千台（同 2.2%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>1月の携帯電話の国内出荷台数は、1,570千台（同 3.3%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、974千台（同 7.9%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 62.0%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,551億9,400万円（前年同月比 39.5%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は969億9,800万円（同 37.2%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが471億8,100万円（同 41.0%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。内需は581億9,600万円（同 43.6%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「市場動向と親会社の受注・売上に乖離がみられる」という声や「内外需ともに堅調推移にあるが、一部の部品に調達難の兆しがある」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、44億3,400万円（前年同月比 6.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが22億1,000万円（同 7.6%減）、国内向けが22億2,300万円（同 4.8%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,807台（同 2.4%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,806台（同 10.0%減）、グランドピアノが1,001台（同 15.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,013台（同 3.3%増）、国内向けが1,138台（同 2.4%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、1,968千トン（前年同月比 1.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,084千トン（同 4.2%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。板紙は884千トン（同 1.4%増）と、16か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、610千トン（同 5.6%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、144千トン（同 0.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け878千箱（前年同月比 1.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は591千箱（同 0.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は448千箱（同 0.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は287千箱（同 5.5%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,196千箱（同 9.8%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、1,333千㎡（前年同月比 3.3%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,280千㎡（同 4.4%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、53千㎡（同 35.7%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、35千㎡（同 0.5%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、46億1,642万円（前年同月比 5.4%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、450億4,180万円（同 0.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>2月の県内百貨店・スーパーの販売額は、30,823百万円（既存店前年同月比0.4%減）と、前年実績を下回った。品目別では、「衣料品」や「飲食料品」、「家庭用品」、「その他の商品」の販売額が前年実績を下回ったものの、「身の回り品」、「食堂・喫茶」は前年実績を上回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、天候不順により、1月に続き2月も野菜の相場が高騰していたため、漬物やサラダ、きのこ、豆類などがよく売れていた。また、県内の専門店への聞き取りでは、リニューアルの影響により売り上げが好調な店舗もみられた。</p> <p>また、「ふじのくに魅力ある個店」の登録店を対象とした「地域のお店」デザイン表彰の表彰式が県の主催で開催された。外観のデザインや顧客との関係づくり、地域貢献の取組などが評価され、5店舗が表彰された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約26万人で、前年同月比1.7%減となった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約63万台となり、前年同月に比べて9.2%減となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
完成車生産台数(台)	17,298	14,990	16,110	14,890	16,922	16,792	13,704	13,173	20,900
前年同月比(%)	4.9	▲ 10.9	20.0	7.8	▲ 15.8	▲ 30.8	▲ 30.9	▲ 31.3	▲ 5.3
KD輸出額(百万円)	714	772	575	496	603	606	531	539	650
前年同月比(%)	▲ 6.1	14.0	▲ 24.6	▲ 26.2	4.4	▲ 15.7	▲ 25.8	▲ 24.3	▲ 7.8

<楽 器>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
生産総額(百万円)	3,731	3,355	2,933	3,078	3,305	3,334	3,298	2,534	2,905
前年同月比(%)	▲ 10.2	▲ 12.1	▲ 11.4	▲ 20.1	▲ 10.6	▲ 8.3	0.1	▲ 17.8	▲ 13.8

<缶詰>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	999	966	976	965	967	992	894	806	878
前年同月比(%)	▲ 9.3	▲ 5.4	▲ 0.1	▲ 9.3	▲ 5.0	2.3	9.6	▲ 2.4	1.4
うち水産缶詰(%)	▲ 11.4	▲ 11.5	▲ 13.0	▲ 14.3	▲ 8.6	▲ 0.8	7.7	▲ 4.2	▲ 0.5
農畜産缶詰(%)	▲ 3.9	11.6	42.4	6.2	5.2	10.9	14.3	2.0	5.5
飲料缶生産高(千ケース)	7,969	8,384	7,648	6,297	5,945	6,345	5,513	4,694	5,196
前年同月比(%)	3.3	▲ 1.1	3.0	▲ 11.9	▲ 9.4	▲ 4.5	▲ 7.9	▲ 4.9	▲ 9.8

<織 維>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
広幅織物(千㎡)	1,137	1,120	1,110	1,411	1,493	1,679	1,589	1,515	1,333
前年同月比(%)	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 3.1	▲ 3.3
小幅織物(千㎡)	29	27	25	31	32	32	33	32	35
前年同月比(%)	▲ 3.3	▲ 0.7	▲ 6.0	3.5	2.5	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 3.8	▲ 0.5

<観 光>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
観光施設(10施設)入込 (千人)	366	334	563	391	331	374	251	287	263
前年同月比(%)	10.8	▲ 7.9	2.0	6.2	▲ 23.3	7.2	▲ 10.2	▲ 0.2	▲ 1.7
有料道路(5路線)通行量 (千台)	670	774	883	704	670	735	725	639	625
前年同月比(%)	3.1	2.5	2.4	3.9	▲ 5.7	4.8	▲ 2.2	▲ 5.7	▲ 9.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年4月号 通巻504号

発行 静岡県経済産業部
平成30年4月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>